

長浜市曳山博物館

企画展

よみがえる曳山の文化財

— 懸装品等の修理と成果 —

令和5年

1/28(土) ▶ 3/5(日)

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 会期中の休館なし

入館料 大人600円／小中学生300円

※20名以上の団体は2割引、長浜市・米原市の小・中学生は無料。
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方
及びその付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

主催 公益財団法人長浜曳山文化協会

月宮殿桐幕「中東蓮花鋸葉文様」(復元)

企画展

よみがえる曳山の文化財

—懸装品等の修理と成果—



懸装品とは、山車に付随する道具や飾り物のこと。長浜の曳山は、見送幕やきらびやかな鍔金具等数多くの懸装品で飾りたてられています。約200年間受け継がれてきた懸装品の修理は、技術者の高齢化が進み、原材料も入手が難しくなるなど年々困難を極めています。本展では、こうした困難を乗り越えて修理してきた懸装品の数々を展示し、よみがえった曳山の文化財と修理を支える技術や活動の一端をご覧ください。



左上から
翁山見送幕「二人の武将図」(復元)
月宮殿張出幕「中東蓮花鋸葉文様」(復元)
狸々丸飾「大羽熊」(復元)
壽山胴幕「竹林七賢人図」(新調)

左下から
孔雀山亭飾「ガラス製玉簾」(修理)
諫鼓山亭屋根飾「諫鼓鶏」(修理)
狸々丸飾「大鳥毛」(復元)

関連行事

講演会：長浜曳山祭における文化財の修理
日時：2月19日(日) 13時30分～16時
講師：二宮 義信 氏 (40分)「曳山修理の必要性」
藤井 健三 氏 (40分)「曳山の懸装品(幕類)復元の実状」
山本 順也 (20分)「文化財修理の事前調査～太刀渡母衣の事例～」
質疑応答 (10分) ※途中10分休憩あり
場所：長浜曳山博物館内 伝承スタジオ
※要予約 定員50名

展示説明会

1月28日(土)
2月11日(土)
2月18日(土)
2月25日(土)
いずれも13時30分～
※予約不要 参加費無料

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON ST. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

[TEL] 0749-65-3300

[FAX] 0749-65-3440

http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/



入館料			
	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳の提示で本人と介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

■ 9時～17時(入館は16時30分まで)
■ 休館日：年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分